

## 課題 制御構文(繰り返し/条件分岐)

フォルダ名 : Q03

ファイル名 : index.php

配布した index.phpをもとに、Step1～Step3の演習をなさい。

index.php

```
<!DOCTYPE html>
<html>
<?php
    $ary = [
        ['A001', 'りんご', 180, 3],
        ['A002', 'いちご', 398, 0],
        ['A003', 'キウイ', 98, 3],
        ['A004', 'メロン', 3000, 0],
        ['A005', 'バナナ', 198, 5]
    ];
?>
<head>
    <meta charset="UTF-8" />
    <title>演習問題</title>
</head>
<body>

</body>
</html>
```

## Step 1

あらかじめ index.php に用意されている配列\$array の内容をテーブル組みで表示する。  
その際、繰り返し分を利用し、単価×数量で金額をもとめて表示する。  
テーブルの枠線を表示する。  
セルの横幅は 60px とする。(cssを利用して指定する。<head>内に記述)

実行結果

商品ID	商品名	単価	個数	金額
A001	りんご	180	3	540
A002	いちご	398	0	0
A003	キウイ	98	3	294
A004	メロン	3000	0	0
A005	バナナ	198	5	990

●html と php の変数を組み合わせて出力する

```
$message = 'Hello';  
  
print "<p>方法 1 : {$message}</p>";  
print '<p>方法 2 : ' . $message . '</p>';
```

ブラウザに送られる内容

```
<p>方法 1 : Hello</p>  
<p>方法 2 : Hello</p>
```

●配列の要素数(2次元配列の場合は行数)を取得する

```
count(配列名);
```

## Step 2

個数が0の商品は表示しない。  
金額を集計し、合計行として表示する。

実行結果

商品ID	商品名	単価	個数	金額
A001	りんご	180	3	540
A003	キウイ	98	3	294
A005	バナナ	198	5	990
合計				1824

## Step 3

表に見出しをつける。  
表の枠線を設定する。(実線 太さ:2px 色:Lime)  
見出しセルと合計セルの背景色を設定する。(LightGreen)  
線とセルの設定は css を利用すること。(〈head〉内の記述で構わない)

実行結果

売上表				
商品ID	商品名	単価	個数	金額
A001	りんご	180	3	540
A003	キウイ	98	3	294
A005	バナナ	198	5	990
合計				1824